

# 7月3日(日)

せいしよ 聖書

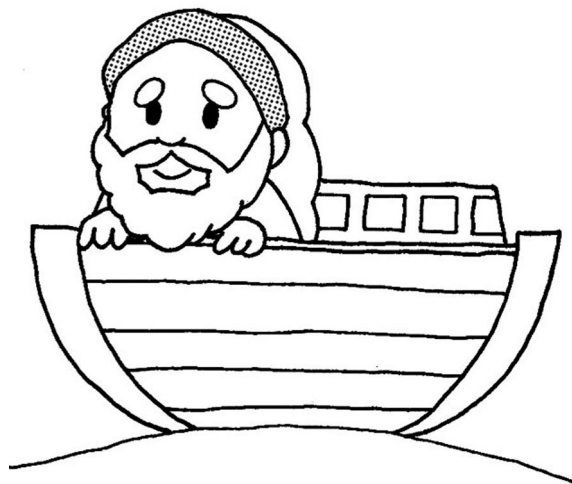
そうせい き 創世記 7・1～24

せいいく 聖句

あなたと家族とはみな箱舟にはいりなさい。 1 節

ノアが600才の2月17日に起こった大洪水。想像できますか？日本に、3月11日に起こった地震と津波！ここは大丈夫と思っていた高い所も津波に押し流されました。ノアの大洪水の時も人々は高い山にのがれましたが、地は全面、全く水におおわれてしまい、箱舟の外の水はすべて滅びてしまったのでした。生き残ったのは箱舟の中のノアたち、たった8人だけでした。今、私たちが入って救われる箱舟とは、「イエス様」です。信じて救われよう！

いの 祈り この世は罪と汚れの大洪水です。イエス様を信じて罪の中から救われます。救いの箱舟を感謝します。



せいしよ 聖書

そうせい き 創世記 7・1～24

テーマ

はこぶね 箱舟なるキリスト

あんしやうせい 暗唱聖句

あなたと家族とはみな箱舟にはいりなさい。 創世記 7・1

もく 目標

はこぶね 箱舟なるキリストを信じ、その救いの中に入る者となる。

# 7月5日(火)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記 7・1～5

せいいく 聖句

ノアはすべて主が命じられたようにした。 5 節

誰もが一つの口と二つの耳を与えられています。神様が、「よく聞くのですよ。聞くことが一番大切です」とおっしゃってくださるようです。ノアはでっかい耳を二つ与えられていたのでしょうか？いいえ、耳の大きさはなく、神様の声がよく聞ける、心の耳がしっかり開かれていたのです。だから、よく聞こえて、そしてちゃんと聞かれたとおりにできたのです。これを従順、すなおに従う心と言います。すなおに従う心で聞いてこそ、はじめて聞いたことになります。

いの 祈り 天のお父様、救いのためには、ノアのよく聞こえた心の耳と、すなおな従う心が大切だったことを知りました。

# 7月4日(月)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記 7・1～5

せいいく 聖句

あなたと家族とはみな箱舟にはいりなさい。 1 節

今週の暗唱聖句です。もう覚えましたが？きょう注目したいのは、「あなたと家族」特に『家族』という言葉です。ノアの家族は、奥さんと、3人の息子たち、そしてそのお嫁さんたちで合計8人家族でした。この8人だけが洪水から救われました。神様は、家族ぐるみ救おうとしておられるのです。あなたの家族は何人なのか？みんなクリスチャンなら大感謝！まだの人がいたら、「救ってください」と神様にしっかりお祈りし続けましょう。

いの 祈り 天のお父様、あなたは家族みんなの救いを願っていてくださり感謝します。私の家族も全員救われますように。

# 7月7日(木)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記 7・6～12

せいこく  
聖句

こうして七日の後、洪水が地に起った。  
10節

「七日の後、わたしは四十日四十夜、地に雨を降らせて、わたしの造ったすべての生き物を、地のおもてからぬぐい去ります」(4)と、神様はノアに言われました。「あと七日しかない」とノアは心ひきしまる思いで聞いたことでした。なぜなら、神様が言われることは、必ずその通りになるということを知っていたからです。ノアは人々に洪水のことを伝えたにちがいありません。でも人々は、ノアと家族のことをバカにして聞く耳を持たなかったのです。

いの  
祈り  
てんのお父様、あなたの言われたとおり、七日後に洪水が起こり、四十日四十夜、雨でした。み言葉に聞き従います。

# 7月6日(水)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記 7・1～5

せいこく  
聖句

また空の鳥の中から雄と雌とを七つずつ取って、その種類が全地のおもてに生き残るようにしなさい。  
3節

「清い獣の中から雄と雌とを七つずつ」「清くない獣の中から雄と雌とを二つずつ」「空の鳥の中から雄と雌とを七つずつ」取るように、との神様の命令でした。ノアはすべて、神様が命じられたようにしたのでした！小さな犬や猫やうさぎやらをつかまえるのはいいけど、それでも逃げ回られると大変！大きな動物やこわそうな動物、それに空の鳥もつかまえるのですから、大変だったのかなアと思ってしまいます。きっと神様の助けがあったのでしよう。

いの  
祈り  
てんのお父様、あなたのご命令が大変に思えても、あなたの方から助けてくださってできると信じます。

# 7月9日(土)

せいしよ  
聖書

しとぎょうでん  
使徒行伝 16・25～34

せいこく  
聖句

主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。31節

このみ言葉の約束が、どんなに真実であるか、たくさんさんの家族が声をそろえて、「アーメン」と言うにちがいありません。この場面は、パウロとシラスが足かせをかけられ牢獄に入れられて、最悪とも思えるところでした。しかし、ふたりは神に祈り、さんびを歌い上げ、そこに神様による大地震が起こり、獄の戸があき、囚人の鎖が解けるといふ奇跡！しかし、もっと大きな奇跡は、この獄屋番とその家族とが主イエスを信じ救われ、バプテスマを受けたことでした！

いの  
祈り  
てんのお父様、家族の救いのための素晴らしい約束のみ言葉をありがとうございます。信じて祈っていきます。

# 7月8日(金)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記 7・13～16

せいこく  
聖句

そこで主は彼のうしろの戸を閉ざされた。  
16節

電車にすべり込み「セーフ！」で乗り込んで、うしろの戸がスーッとしまったなんて経験ありますか？ひや汗ものでしょう。今は電車の戸も、自分で閉めるものはほとんどないでしょう。ノアの箱舟の入口の戸も、実は、ノアや家族の誰かが閉めたものではありませんでした。「主は彼のうしろの戸を閉ざされた」とありますから、まちがいに神様でした！するともう絶対に外から入れません。救いの戸は閉ざされたのです。でも、「キリストの救いの戸」は、今も開いているから大丈夫！

いの  
祈り  
てんのお父様、今はまだイエス様による救いの戸はオープンなので感謝です。家族みんなが救われますように。

# 7月10日(日)

聖書

ヨハネ 1・29～37

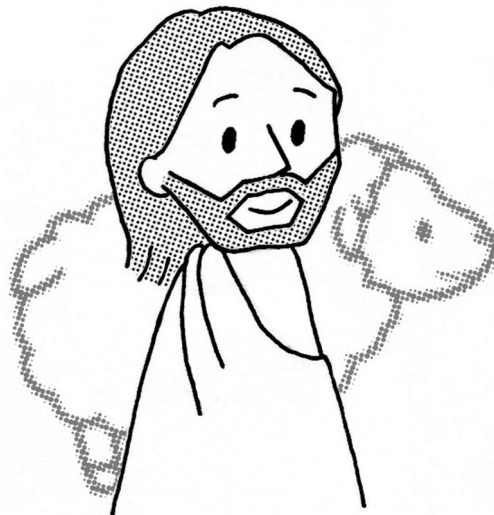
聖句

見よ、世の罪を取り除く神の小羊。

29節

初めての交友だちと会う時、お互いに「自己紹介」をします。ちよつと恥ずかしくて苦手、という人もいますか。他の人を紹介してあげるのを「他己紹介」と言います。おもしろいひびきだけど！バプテスマのヨハネさんはここで、イエス様が自分の方に歩いてこられるのを見て、イエス様の「他己紹介」をしたのでした。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」とね。それにしてもとても珍しく、不思議な紹介だと思いませんか。今週、それを調べてみましょう。

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様が「世の罪を取り除く神の小羊」であることが、よくわかって信じられるようにしてください。



聖書

ヨハネ 1・29～37

テーマ

神の小羊キリスト

暗唱聖句

見よ、世の罪を取り除く神の小羊。

ヨハネ 1・29

目標

神の小羊キリストを信じ、罪の赦しを頂く。

# 7月12日(火)

聖書

マタイ 3・13～17

聖句

すると、見よ、天が開け、神の御霊がはどのように自分の上に下ってくるのを、ごらんになった。

16節

もうあなたは洗礼を受けましたか？ここは、イエス様が洗礼を受けられた場面です。バプテスマのヨハネは、「逆ではないですか。わたしこそあなたから洗礼を受けるはずです」と言うので、「ちゃんと正しいことをしたいので今は授けてください」と言われるイエス様に、ヨハネはヨルダン川で洗礼を授けました。すると、天から神の御霊がはどのようにイエス様の上にくだり、「これはわたしの愛する子」と、天の父の声が聞こえてきたではありませんか！

いのちの祈り  
天のお父様、あなたの御子イエス様の洗礼は、本当に特別なものであったことがよくよくわかりました。

# 7月11日(月)

聖書

ヨハネ 1・24～28

聖句

わたしは水でバプテスマを授けるが、あなたがたの知らないかたが、あなたがたの中に立っておられる。

26節

「知らない人について行ったらいけませんよ！」って、今頃はうるさいほど言われますね。ここに登場する「知らない人」とは、何と！イエス様ではありませんか！バプテスマのヨハネも、「わたしはこのかたを知らなかった」と言っていますし、そこにいたみんなも「知らない人」イエス様でした。30才になるまでは、お父さんのヨセフの大工仕事をお手伝いしていましたから、知られていなかったのです。ヨハネの紹介で知られていくのです。

いのちの祈り  
天のお父様、私も誰かにちゃんと教えてもらわないと、イエス様のことがよくわかりません。教えてください。

# 7月14日(木)

聖書

マタイ27・45～50

聖句

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

「世の罪を取り除く神の小羊」という紹介のとおりイエス様は、終わりに十字架にかかってくださいました。33才という若さで昔、小羊が人間の罪を負って、焼かれて、殺されるという儀式がありました。その小羊のように、イエス様は「神の小羊」として、十字架の上に犠牲のささげものとなってくださったのです。十字架の上での七つの言葉のまん中、四番目のこの言葉で、私たちの罪を負い、神様から完全に捨てられたのがわかります。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の叫びに、「それは私のためです」と、全人類が叫ばなければならないことを知りました。

# 7月13日(水)

聖書

ヨハネ1・29～34

聖句

わたしは、御霊がはどのように天から下って、彼の上にとどまるのを見た。 32節

わたしたちが、この眼で見るものや心の眼で見るもので、一生、心と頭の中に焼きついていて消えない、忘れないものについてあるでしょう。あなたにもあります。バプテスマのヨハネさんにとっでは、きっとイエス様の洗礼式だったと思います。「御霊がはどのように下って」イエス様のの上にとどまった！父なる神様の言葉(33)を思い出し、「ああ、この方だ、この方こそ神の子だ」と信じ、あかししました。ヨハネは光栄に震えましたね。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様に洗礼をさずけたヨハネの感動が、私の心にも強く伝わってきます。

# 7月16日(土)

聖書

Iヨハネ1・5～10

聖句

そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。 7節

罪ほど私たちの心を暗くし、重くし、苦しくし、はじめにするものはありません。自分の力や、ましてや他の人の力ではどうにもなりません。だから、神様が「世の罪を取り除く神の小羊」イエス様をこの地上に、私のために送ってくださいましたのです。罪を告白して(9)、赦していただきました。もし失敗したとしても、またおわびして赦してもらいましょう。「きよめつづける」血潮を信じましょう。罪を犯したくない心にしていただきましょう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様による罪の赦しをありがとうございます。いつもきよく歩めますように。

# 7月15日(金)

聖書

ヨハネ19・28～30

聖句

イエスはそのぶどう酒を受けて、「すべてが終った」と言われ、首をたれて息をひきとられた。 30節

小羊が一匹でも、刺されて血を流して死んでいくのを見るのはつらいことです。私の罪の身代わりだと思つと、よけいにね。イエス様は、一つも罪を犯さなかったのに、わたしに代わって、十字架にかかってくださり、両手両足、頭からも大量の血を流してくださいました。罪のない血を！十字架の上で。六番目におっしゃった、今日のみ言葉は「完了した！やり遂げた！」という叫びで、イエス様の血のゆえに、完全に罪が赦される道が開かれたのです。

いのちの祈り 天のお父様、罪とは何と恐ろしいものでしょう！私の罪を取り除いてくださる神の小羊イエス様に感謝します。

# 7月17日(日)

せいしよ  
聖書

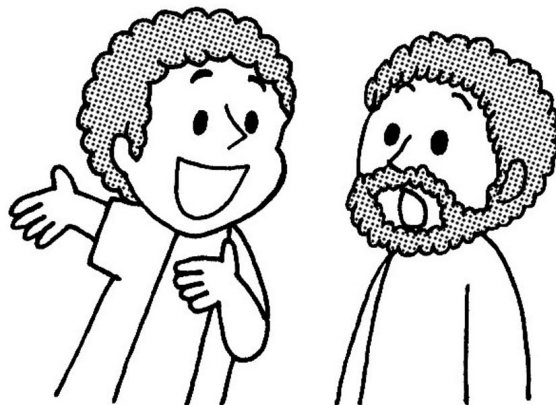
ヨハネ 1・37～42

せいこく  
聖句

わたしたちはメシヤ（訳せば、キリスト）にいま出会った。 41節

「見よ、神の小羊」（36）だって!? パプテスマのヨハネが見つめながらそう言った、その人はどんな人? と、ヨハネと一緒にいたふたりのお弟子さんたちは興味シンシン。ふたりはその人について行ったのです。それに気づいたイエス様はふり向いて言われました。「何か願があるのか」と。ふたりはイエス様の泊まっておられるところに一緒に泊まりました。ふたりのうちのひとりにはペテロの弟アンデレ。「メシヤに出会った」と兄に告げたのです。」

いのちの祈り ひとばん イエス様とともに泊まっただけで、メシヤだと信じ、ペテロに告げたのにはとても驚きです。



せい  
聖

しよ  
書

ヨハネ 1・37～42

テ

マ

キリストを証する

あんしやうせい  
暗唱聖句

わたしたちはメシヤ（訳せば、キリスト）にいま出会った。

ヨハネ 1・41

もく  
目

ひよう  
標

キリストに出会い、キリストを証する者となる。

# 7月19日(火)

せいしよ  
聖書

ヨハネ 1・40～42

せいこく  
聖句

そしてシモンをイエスのもとにつれてきた。 42節

あなたもお家の人や、お友だちを、教会へ、つまりイエス様のもとにつれてくる子どもですか? アンデレは、まず一番に兄のシモンに出会って、「いまメシヤに出会ったよ」と言い、すぐにシモンをイエス様のところにつれて行ったのでした。イエス様はシモンに暖かい目をそそいで、将来、力強い岩のような人にしてあげるよとおっしゃってくださいました。アンデレのおかげで大使徒ペテロが造られたのです。私たちもあの人この人と誘いましょう。

いのちの祈り てんのお父様、私もアンデレのように、素晴らしいイエス様のもとに、たくさんの人をおつれしてきたいです。

# 7月18日(月)

せいしよ  
聖書

ヨハネ 1・35～39

せいこく  
聖句

イエスは彼らに言われた、「きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう」。 39節

イエス様について行ったふたりのお弟子さんたちは、「先生、どこにおとまりなのですか」とたずねました。するとイエス様は、「きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう」とおっしゃって、ふたりは喜んでついて行って、その日はイエス様と一緒に泊まったのでした。そして、「メシヤだ」とわかったのです。教会として何するところ? どんなところ? と聞かれたら、「きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう」と、答えてあげましょう。

いのちの祈り てんのお父様、イエス様のお誘いの言葉がとても気に入りました。私もそう言って教会にみんなを誘いたいです。

# 7月21日(木)

聖書

ヨハネ 1・45～51

聖句

ピリポは彼に言った、「きて見なさい」。

46節

いつでも、みんながみんなすぐに「ハイー」と言っいてイエス様さまのところにくるわけではないのです。ピリポが声をかけたナタナエルという人ひとがそうでした。「モーセや預言者よげんしゃがしているヨセフの子こ、ナザレのイエスにいま出会であった」とピリポが言いうと、「ナザレから、なんのよいものが出でようか」と少し見下みさげられました。でもピリポも「きてみなさい」と負まけません。イエス様がナタナエルとお出であ会かいして、会かい話わしてナタナエルは納得なつとくしたのでした。

いのちの祈り

天てんのお父様とうさま、教会きょうかいでしっかりイエス様さまとお会あいし、アンデレやピリポのようにみんなをつれてこられますように。

# 7月20日(水)

聖書

ヨハネ 1・43～44

聖句

イエスはガリラヤに行いこうとされたが、ピリポに出であ会かいって言いわれた、「わたしにわたしに従したがってきなさい」。

43節

「わたしに従したがってきなさい」とイエス様さまに言いわれて、ついで行いったピリポは幸しあせでした。今は天てんにおられる山田晴枝先生やまだはるえせんせいは三人姉妹にんしまいの末すえ子こでした。いつでもふたりの姉あねたちのあとを追おって仲間なかまに入いれてほしかったのに、「ついて来こないで！」と言いわれていたのです。ところがイエス様さまは晴枝はるえさんに、「わたしについてきなさい、従したがってきなさい」と言いってくださると、大感激だいかんげきし、イエス様さまのために献身けんしんし、素晴らしいお働はたらきをされました。感謝かんしゃです。

いのちの祈り

天てんのお父様とうさま、イエス様さまは今いまも、「わたしに従したがってきなさい」と招まねいてくださいます。私もついで行いきます。

# 7月23日(土)

聖書

ヨハネ 4・27～30

聖句

さあ、見みにきてごらんなさい。もしかしたら、この人ひとがキリストかも知れしません。

29節

人目ひとめを避さけて、真昼間まひるま、水みづをくみに井戸いどにやってきたのに、この女おんなの人は水みづがめをそのままそこにほっぽり出だして、急いそいで大勢ぜいの人ひとたちのいる町まちに入はいって行いって、しかも大おお声こゑで叫よびましたよ！「わたしのしたことを何もかも、言いいあてた人ひとがいます。さあ、見みにきてごらんなさい」と。女おんなの人の興こう奮ふんした様子ようすが目めに浮うかぶようですね。その声こゑを聞きいた人々ひとびとは、町まちを出でて、ぞくぞくとイエス様さまのところへ行いったのでした。本当に私わたしたちもゾクゾクしますね。

いのちの祈り

天てんのお父様とうさま、イエス様さまにお会あいしたらもう黙だまってなんかいられません。もっとももっとみんなに伝つたえています。

# 7月22日(金)

聖書

ヨハネ 4・13～26

聖句

イエスは女おんなに言いわれた、「あなたと話はなをしていはなるこのわたしわたしが、それである」。

26節

もう一人ひとり、イエス様さまと出であ会かいい、イエス様さまをあかしした人ひとを見みましよう。どういなう名な前の女まえの人おんなのかはわかりません。サマリヤという町まちの人ひとなので、サマリヤの女おんなと呼ばよばれます。暑い昼あつの12時じ過ぎ、たったひとり井戸いどの水みづをくみにきて、この女おんなの人はイエス様さまと出であ会かいいました。実はイエス様さまが会あってくださったのです。罪つみの生活せいかつをチェックされ、礼拝らいはいのお話はなしになり、メシヤのお話はなしになった時とき、「わたしわたしがそのメシヤだよ」と言いわれて、女おんなの人はビックリでした。

いのちの祈り

天てんのお父様とうさま、誰だれでもイエス様さまとお会あいすると、本ほん当とうに満まん足ぞくし、生いき方かたがガラッと180度ど変かわってしままいます。

7月24日(日)

せいしよ  
聖書

ヨハネ 2・1～11

せいいく  
聖句

それなのに、あなたはよいぶどう酒を  
今までとっておかれました。 10節

お酒には縁のない私たちですが、きょうの  
お話しはすごく興味深いですよ。結婚式の裏  
方で起こったできごとです。料理がしらさん  
がなめたお酒は、超とびきり上等のお酒で、  
すっかり感心して、花婿さんに、「普通、み  
んなに酔いが回ったところにはおいしくないの  
を出すのに、こんなよいぶどう酒をとってお  
いたのですね」と言いました。花婿さんはポ  
カーン！実は、この超とびきり上等のぶど  
う酒は、元は水だったのだ！ 今週はそのカ  
ラクリを探ることにしよう。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様によって水がぶどう酒  
に変えられたように、私たちの心と生活も素晴ら  
しく変えてください。



せいしよ  
聖書

ヨハネ 2・1～11

テーマ

変化をもたらすキリスト

あんしよせい  
く  
暗唱聖句

それなのに、あなたはよいぶどう  
酒を今までとっておかれました。

ヨハネ 2・10

もく  
目  
ひよう  
標

キリストによる変革を経験する者  
となる。

7月26日(火)

せいしよ  
聖書

ヨハネ 2・3～4

せいいく  
聖句

ぶどう酒がなくなっていました。  
3節

結婚式の主役は新しいカップル。そうなん  
ですけど、やっぱりおいしいごちそうや、ユ  
ダヤでは特に心を楽しませてくれるおいしい  
ぶどう酒でした。ところが、よりによって  
肝心のそのぶどう酒がなくなってしまったの  
です。祝宴はまだまだ続くというのに。母  
マリヤはすぐにイエス様のもとに行って告げ  
ました。マリヤさんは、一番いいことをした  
のです。たとえその時イエス様から冷たくひ  
びく言葉を聞いたとしてもです。何でもイエ  
ス様に告げましょう！

いの  
祈り

天のお父様、私たちも困った時や、不安なこと  
やわからない時、何でもイエス様のもとにもって  
いきます。

7月25日(月)

せいしよ  
聖書

ヨハネ 2・1～2

せいいく  
聖句

イエスも弟子たちも、その婚礼に招か  
れた。 2節

結婚式をするのはいろいろと大変のようで  
すよ。誰をお招きするのかというのも頭を悩  
ますのかもしれない。ガラヤのカナで行  
われた婚礼は、もしかしたら、イエス様のお  
母さんのマリヤの親戚の人のだったのもし  
れません。マリヤさんは裏方でご奉仕してい  
たようです。そこに、イエス様も、弟子たち  
も招かれました。新しいカップルは実は一番  
大切な人を招きました。そう、イエス様です。  
どんな集まりでもまずはイエス様をお招きし  
ましょう。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のみ名で集まる所には、  
イエス様も必ずいてくださるとのお約束を感謝し  
ます (マタイ 18・20)。

# 7月28日(木)

聖書

ヨハネ 2・8

聖句

さあ、くんで、料理がしらのところに持  
って行きなさい。 8節

さあ、もしあなたがただったら、こんな時ど  
うするでしょう？ さきほど、かめの口まで  
いった水、水です。たしかに水でした。そ  
れをくんで、料理がしらのところに持って  
行きなさいと、イエス様は言われます。  
「あの、イエス様、これって、水なんです  
けど…」なんて言いたくなるのかな？ と  
ころが、「すると、彼らは持って行った」と  
あるではありませんか！ とにかく、言いつ  
けられたことはなんでもすると、彼らはマ  
リヤさんの言葉にしっかりと従いました。

いのちの祈り  
天のお父様、隠れた見えない所で名もない僕た  
ちの素晴らしい従順の姿が光っています。とても  
教えられます。

# 7月27日(水)

聖書

ヨハネ 2・5～7

聖句

このかたが、あなたがたに言いつけること  
は、なんでもして下さい。 5節

「わたしの時は、まだきていません」とイ  
エス様に言われても、マリヤさんは何のその、  
すぐにそこにいた僕たちに言いました。「こ  
のかたが、あなたがたに言いつけることは、  
なんでもして下さい」。マリヤさんもスゴイ  
けど、この僕たちもアッパレ！ でっかい石の  
水がめ六つに水をいっぱい入れなさいとイエ  
ス様から言われて、「彼らは口のところまで  
いっぱいに入れた」のでした。言いつけられ  
たことはなんでもしたので。とても立派で  
したね。

いのちの祈り  
天のお父様、マリヤさんのような信仰と、僕た  
ちのような素直な従順をあなたは喜ばれることが  
わかりました。

# 7月30日(土)

聖書

ヨハネ 2・11

聖句

イエスは、この最初のしるしをガリラヤ  
のカナで行い、その栄光を現された。 11節

水がぶどう酒に変えられた奇跡、これは  
イエス様の最初のしるしでした。今もイエ  
ス様の言葉信じて、従う人の心と魂  
と生涯をイエス様は変えてくださいます。  
水のような味気ない日々を、感謝と感動の  
日々、水のような冷たく味の無い心を、  
ぶどう酒のような豊かな味わいのある心  
に。イエス様を信じて新しく造り変えられ  
た人は、神様の栄光をあらわすのです。最  
後のしるしは、やがて天で行われる、小羊  
の婚宴です。栄光の大集合ですね。

いのちの祈り  
天のお父様、わたしの心と行いも、日々あなたの  
み言葉によって変えてくださって、あなたの栄光  
を輝かせますように。

# 7月29日(金)

聖書

ヨハネ 2・9～10

聖句

水をくんだ僕たちは知っていた。 9節

「ウーオー！ 何という、今まで味わったこと  
もないような超とびきり上等のぶどう酒ではな  
いか。どこからこんなおいしいものが来たんだ？」  
と、一口なめた料理がしらは感動、感心しまし  
た。そして花婿さんにおほめの言葉をかけたわ  
けです。しかし、もちろん花婿さんにもわかり  
ません。ただし、水をくんだ僕たちは知ってい  
たのです。アッ！ イエス様だ！ イエス様のな  
さった奇跡のみわざだとね。従う者に神様はシ  
ークレット（秘密）を知らせてくださいます。

いのちの祈り  
天のお父様、あなたのみ言葉にすなおに従うこ  
とがどんなに大きな祝福になるか、身をもって体  
験したいです。



# 7月31日(日)

せいしよ  
聖書

ヨハネ5・1～9

せいいく  
聖句

お起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい。8節

病気になったことあるでしょう？ 何の病気でしたか？ 痛い、苦しい、だるいとなると、もいやですね。それに、いつなおるかかわらないというのがつらいでしょう。不安でたまらなくなります。ここに出てくる人は、何と、38年も病気がなおらないままの人でした！ もちろん、イエス様が見のがされるはずはありません。「なりたいのか」とたずね、その気持ちを知って、「起きて、歩きなさい」と言われると、この人はすぐにいやされました。

いの祈り  
天のお父様、池の水によるのではなく、この人はイエス様によってすっかりいやされました。主をほめたたえます。



せいしよ  
聖書

ヨハネ5・1～9

テーマ

癒しをもたらすキリスト

あんしよせい  
暗唱聖句

お起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい。ヨハネ5・8

もく  
目標

キリストによる癒しを頂いて、立ち上がる。

# 8月2日(火)

せいしよ  
聖書

ヨハネ5・5～7

せいいく  
聖句

さて、そこに三十八年のあいだ、病気で悩んでいる人があった。5節

病気で入院したことがありますか？ どのくらい長くかかりましたか？ 一ヶ月、一年？ ところがここに病気に悩んでいた人は、かわいそうに、38年ものあいだずっとだったのです。イエス様はそのことを知って、その人に「なりたいのか」と言われました。この人は答えて言いました。「主よ、水が動く時に、わたしを池の中に入れてくれる人がいません。わたしがはいりかけると、ほかの人が先に降りて行くのです」。この人は本当に池に入てなおりたかったのです。

いの祈り  
天のお父様、38年たっても、やっぱりなおりたい気持ちがあったことがよくわかります。何でもあきらめたくないです。

# 8月1日(月)

せいしよ  
聖書

ヨハネ5・1～4

せいいく  
聖句

エルサレムにある羊の門のそばに、ヘブル語でベテスタと呼ばれる池があった。2節

池で水遊びしたり、泳いだり、魚を釣ったりしたことありますか？ 楽しいですよね。ところが、この池は特殊な池でした。名前前はヘブル語で「ベテスタ」、これは訳すと、「あわれみの家、愛の家」という意味です。池の周りには五つの休み場があって、何とそこにはたくさんの方々が横たわっていました。天使が水を動かした時、一番先に池に入った人がいやされると信じられていたのです。いやしとあわれみを求める人々で囲まれた池だったのですね。

いの祈り  
天のお父様、池の水によるいやしでは、とても間に合わないように思えます。今もいやしを求めている人でいっぱいです。

# 8月4日(木)

聖書

マルコ 5・25～26

聖句

さてここに、十二年間も長血をわずらっている女がいた。 25節

病気にもいろいろな種類がありますね。外科や内科や脳神経科や婦人科や肛門科や、いろいろね。特に、ちよつと恥ずかしいなと思えるものも。この女の人は12年間も悩み、たくさんのお医者さんにかかつては、さんざん苦しめられたとあります。持ち物を全部売って治療費にあてたけれども、なんのかわからないばかりか、ますます悪くなる一方だったとなると、本当に、絶望的でした。お医者さんもあてにならない。あてになるのは一体どれ?

祈り 天のお父様、この女の人はなんてかわいそうなのでしょう。何のためのお医者さんなのでしょう? と思ってしまう。

# 8月3日(水)

聖書

ヨハネ 5・8～9

聖句

すると、この人はすぐにいやされ、床をとりあげて歩いて行った。 9節

イエス様もしつかりその気持ちを受け止められて言われました、「起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい」。するとどうでしょう。この人はすぐにいやされたのです。そして、床をとりあげて、歩いて行ったではありませんか!! えーっ! この人が本当に38年も歩けなかった病気で悩んでいた人なの!? と驚くばかりですね。イエス様の言葉の力は本当に偉大。信じる人の内に働く力は偉大。真に「ベテスタ、あわれみの家」はイエス様でした。

祈り 天のお父様、イエス様の心の内にはいつも「あわれみ」がわきあふれていて、思わずみわざがなされました。

# 8月6日(土)

聖書

マルコ 5・30～34

聖句

娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。 34節

「わたしの着物にさわったのはだれか」と、イエス様は群衆の中で振り向かれて言われました。「エーツ、イエス様、こんなに大勢のわたしが押し合いへし合い、あなたにさわっているではありませんか。それなのに誰がとおっしゃるのですか」と弟子たちは言っても、イエス様は見つけようと見回しておられます。女の人は恐れおのき進み出てひれ伏し、ありのまま話しました。「あなたの信仰があなたを救ったのですよ」とやさしい返事でした。

祈り 天のお父様、イエス様は力あるいやし主です。これから病気の時も、イエス様に祈っていやされて立ち上がりたいです。

# 8月5日(金)

聖書

マルコ 5・27～29

聖句

この女がイエスのことを聞いて、群衆の中にまぎれ込み、うしろから、み衣にさわった。 27節

しかし、光が見えました! この女の人はイエス様のことを聞いたのです。そして彼女は信じて立ち上がりました。群衆の中にこっそり入りこみ、うしろから、そーっとイエス様のみに衣にさわったのです。せめて、みに衣にでもさわれば、なおしていただけるだろうと思って。するとどうでしょう! いやされたのです!! 血の元がすぐにかわき、病気がなおったことをその身に感じました。イエス様は、たとえば、自分の内から力が出て行ったことに気づかれたのでした!

祈り 天のお父様、イエス様の内から力を引き出すほどの信仰の素晴らしさを覚えます。いやしの信仰を求めます。

# 8月7日(日)

聖書

創世記12・1～9

聖句

あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。

1 節

夏休みです。家族旅行の計画なんかうれしいですよ。何泊するのかな？どこまで行くのかな？もちろんうちの人は、ちゃんと目的地も旅費も帰ってくる日も決めて実行します。アブラムさんは、と言うと、「えー、どこへ行くのかわかりません。あー、何日旅に出るのかわかりません。うーん、いつ帰ってくるのか、もう帰らないのかわかりません」というような旅立ちでした！ただし、まことの神様を信じて、神様の導きにお従いする旅でした。

いのちの祈り 天のお父様、アブラムさんたちのために、あなたはきっと素晴らしいご計画を持って導かれたのだと信じます。



聖書

創世記12・1～9

テーマ

神による旅立ち

暗唱聖句

あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。

創世記12・1

目標

罪から離別し、神の導きに従って生きる者となる。

# 8月9日(火)

聖書

創世記12・4～5

聖句

アブラムは主が言われたようにいで立った。

4 節

新しい出発！と言っても、ピカピカの一年生ではありません。アブラムさんはなんと75才、そのお年で、新たな旅立ちでした。「主が言われたようにいで立った」のでした。いくつになっても、どんな時でも、どんな所へでも、どんな人とも、どんなことでも従う、これが本物の信仰なのです。アブラムさんと奥さんのサライさん、弟の子、つまりおいのロトさん、集めたすべての財産プラス何人かの人々が旅行団でした。団長は神様でしたね！

いのちの祈り 天のお父様、あなたが言われたようにお従いする信仰をもって、アブラムさんのように祝福の基とされたいです。

# 8月8日(月)

聖書

創世記12・1～3

聖句

あなたは祝福の基となるであろう。2 節

池の中に小石をひとつポトンと投げ込むと、どうなりますか？そこから、波紋がずん、ずん、ずんと広がっていきますね。神様はアブラムさんをその小石のように、そう、祝福の輪を広げていく小石のように選ばれました。お父さんのテラと出てきたそのウルの町は、月や星を拝む偶像崇拜の町でした。そこからきっぱり離れました。そして神様の導きにお従いしていく時、アブラムさんは祝福され、祝福の基として祝福を広げていくとの約束でした。

いのちの祈り 天のお父様、祝福の震源地なんて最高です。私もアブラムさんのようにあなたを信じ、あなたに従いたいです。

# 8月11日(木)

聖書

創世記13・1～7

聖句

アブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちの間に争いがあった。

7節

おっとっと、「祝福の基」軍団の中に、争いが起こってしまいましたよ。アブラムさんは家畜もいっぱい飼っていたし、金銀にも非常に富んでいました。おいの口トさんも、羊、牛、そして天幕を持っていたのです。それで、彼らの家畜が多すぎるようになってしまい、その地ではおさまり切れなくなりました。そうすると、それぞれの家畜の牧者たち同士が争い始めてしまいました。財産や持ち物が十分にあると、とかく問題が起こりやすいですね。

いの祈り 天のお父様、豊かに祝福されている中でも、すべてはあなたからの恵みと肝に命じて、平和に過ごしたいです。

# 8月10日(水)

聖書

創世記12・6～9

聖句

そこに彼は主のために祭壇を築いて、主の名を呼んだ。

8節

アブラムさんがいつも神様を一番にしていたのがよくわかります。神様に示されたカナンの地に来て、モレのテレビンの木のもとに着いたアブラムさんに、神様が現れてくださって、「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」と言われました。アブラムさんはそこに主のために祭壇を築きました。さらにベテルの東の山に移って、またそこにも祭壇を築きました。神様とお話できる所、今は十字架のもとですね。十字架の祭壇の前でお祈りしましょう。

いの祈り 天のお父様、そこに行くといつでも十字架を仰いで、お祈りができるような、お祈りの場所をつくり、祈ります。

# 8月13日(土)

聖書

創世記13・14～18

聖句

わたしはあなたの子孫を地のちりのように多くします。

16節

再び、神様からの祝福のお約束がアブラムさんに臨みました。それは、「ロトがアブラムに別れた後に」でした(14)。欲深いロトさんとその一行にお別れたあとでした。何と豊かな神様からの祝福のお約束でしょう！あなたが見たす地はすべて、永久にあなたとあなたの子孫に与えます。あなたの子孫を地のちりのように多くします。私たちもアブラムさんのように、偶像崇拜の罪、その他の罪から離れ、ロトさんのような欲からも離れましょう。

いの祈り 天のお父様、アブラムさんのように、しっかりあなたに従って、豊かに祝福され、祝福を流させてください。

# 8月12日(金)

聖書

創世記13・8～13

聖句

アブラムはカナンの地に住んだが、ロトは低地の町々に住み、天幕をソドムに移した。

12節

「身内同士で争うのは良くない。私たちは別れましょう。さあ、良い地を選んでください」と、アブラムさんがおいのロトさんに言いました。「いえいえ、おじさん、あなたがまず選んでください」と、ロトさんは言わなかったのです！ロトさんの心は欲の心、目は欲の目で、主の園のようにすみずみまでよく潤っていたヨルダンの低地を先に取りました。ロトは罪びとたちの住むソドムに天幕を移しました。欲の心や欲の目で選ぶととても危険ですね。

いの祈り 天のお父様、何かを選ぶ時、どちらかに進む時、自分の欲の心や目で選ぶことがないように、お守りください。

# 8月14日(日)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記15・1～16

せいいく 聖句

アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。 6節

お友だちとユビキリゲンマンのお約束したことがあるでしょう？ ちゃんと守れましたか？ 「そんな約束してたっけ？」 なんてことになりませんように。アブラムさんは神様から約束していただいたのです。「あなたの子孫は、あの数えられないほどの天の星のようになりまますよ」という約束でした。その時、アブラムさんは妻サライが子を生まないのでも、しもべがあとつぎとなると思っていたのですが、「信じます！」と答えて、神様に義と認められました。

いの 祈り 天のお父様、あなたのお約束は信じるべきものです。その信仰をあなたは喜んで、信じる者を義としてくださり感謝です。



せいしよ 聖書

そうせい き 創世記15・1～16

テーマ

かみ 神による約束

あんしやうせいいく 暗唱聖句

アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

そうせい き 創世記15・6

もく 目標

かみ やくそく しん い もの 神の約束を信じて生きる者となる。

# 8月16日(火)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記15・4～6

せいいく 聖句

天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい。 5節

ところが、です！ 約束をしてくださる神様は、本当に偉大なお方なのです。「いや、しもべじゃないよ。あなたの身から出る者があとつぎとなるのだ」とおっしゃって、アブラムさんを外に連れ出しました。天の川と見えたことありますか？ その時アブラムさんの仰いだ夜空の星、星、星！「数えることができるなら、数えてみなさい」…とても、できません。「あなたの子孫はあのようになるでしょう」。アブラムさんの胸は

いの 祈り 天のお父様、あなたのなさるお約束は、とても考えられないようなものです。上を仰ぐ信仰を与えてください。

# 8月15日(月)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記15・1～3

せいいく 聖句

あなたはわたしに子を賜わないので、わたしの家に生れたしもべが、あとつぎとなるでしょう。 3節

アブラムさんは、「祝福の基」とされるため、「信仰の父」とされるために神様から選ばれました。神様の約束を信じていく世界はスゴイ！ ということが、アブラムさんの一生でよくわかるのです。そのようにしてくださるのは神様だということがね。ここでアブラムさんは、「あなたの受ける報いははなはだ大きいであろう」と言われて、「わたしには子がないのです。わたしのしもべがあとつぎとなるでしょう」と、神様に答えるしかありませんでした。

いの 祈り 天のお父様、私たちもアブラムさんのように、目に見えるところで考えることしかできない小さな者です。

# 8月18日(木)

聖書

創世記18・9～15

聖句

主にとって不可能なことがありましょ  
うか。 14節

夏、真つ盛り、昼はあまりに暑くて頭もボ  
ーッとしてしましますよね。そんな夏の暑い  
ころ、主の使いが三人、アブラハムとサラの  
天幕に來られました。二人は大急ぎでおもて  
なしをしました。そのうちのひとりがアブラ  
ハムに、「来年の春、サラには男の子が生れ  
ている」と言います。サラは心の中でクスッ  
と笑いました。「なぜ笑うのか、主にとって  
不可能なことがありましょか、来年の春、  
サラには男の子が生れている」と、重ねての  
約束でした。

いの  
祈り

天のお父様、90才で子を生むなんてと、サラの  
笑うのも当たり前です。でも、あなたの約束には  
力があります。

# 8月17日(水)

聖書

創世記17・15～21

聖句

あなたの妻サラはあなたに男の子を産  
むでしょう。名をイスクと名づけなさ  
い。 19節

「おかしいなア、いつになったら来るの  
かなア」って、約束したところに行つて、待  
ちぼうけになつちやつたつてことがあり  
ますか？アブラムさんとサライさんも「神  
様のお約束、どうなっているのかしら」と  
思つていたでしょう。アブラム99才、サラ  
イ89才でしたから！ところがその年、神様  
が現れて、名をアブラムからアブラハムに、  
サライからサラに変えられ、サラが男の子  
を生むこと、その名をイスクと名づけるよ  
うにとおっしゃるではありませんか！

いの  
祈り

天のお父様、あなたはどんなに年月がたつても、  
決してお約束を忘れたりしない方だと、良くわか  
りました。

# 8月20日(土)

聖書

ローマ4・16～25

聖句

彼は望み得ないのに、なおも望みつつ信じ  
た。 18節

「そんなことつて、ありえる？」「ああ、も  
うだめだ」と思えるような時、私たちはこ  
のアブラハムさんを思い出しましょう。アブ  
ラハムさんは「死人を生かし、無から有を呼  
び出される神を信じた」のでした。「望みえ  
ないのに、なおも望みつつ信じた」のでした。  
そして義と認められました。私たちもイエス  
様を死人の中からよみがえらされた神様を信  
じて、義と認められるのです。アブラハムの  
神、よみがえらされたイエス様の父なる神を  
信じよう！

いの  
祈り

天のお父様、あなたのお約束をとことん信じ  
て、毎日すごせますように。あなたの偉大なみ  
わざに期待します。

# 8月19日(金)

聖書

創世記21・1～7

聖句

主は、さきに言われたようにサラを顧み、  
告げられたようにサラに行われた。 1節

神様が言われたら、必ずそのようになり、  
神様が約束されたら、絶対に、そのようにな  
るのですね。サラは身ごもり、年老いたアブ  
ラハムに男の子を生みました！100才のパパ  
さんアブラハムに、90才のママさんサラでし  
た！神様に言われたとおり、その名前を、「イ  
サク」と名づけました。その意味は「笑い」で、  
サラは、「神はわたしを笑わせてくださった」  
と言いました。本当に、神様の約束どおりに  
なる時、私たちは笑いに満たされるのですね。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのなさることは何と驚くば  
かり！これからあなたの約束を信じぬいていき  
たいです。

# 8月21日(日)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記19・12～28

せいしよ 聖句

のがれて、自分の命を救いなさい。うしろをふりかえって見てはならない。

17節

アブラハムさんのおいのロトさん一家は低地のソドムに住んでいましたね。あまりに罪深いソドムの町の人々を、神様はさばく決心をされました。アブラハムさんに告げると、アブラハムさんは必死のとりなしの祈りをささげました。「警告!!」の赤ランプがパカパカ光ってるよ、ロトさん。「山にのがれなさい。そうしなければ、あなたは滅びます」。早くのがれて、自分の命を救わなければなりません。今も罪の中にいる人々への警告ですよ。あなたは大丈夫!?

いの 祈り  
てんのお父様、罪の生活の行く末は恐ろしい滅びです。私も罪をおわびして、罪から救われ命の道を歩みます。



せいしよ 聖書

そうせい き 創世記19・12～28

テーマ

ほろ 滅びからの脱出

あんしやうせい く 暗唱聖句

のがれて、自分の命を救いなさい。うしろをふりかえって見てはならない。 創世記19・17

もく 目標

ほろ 滅びに至る罪の生活から逃れる者となる。

# 8月23日(火)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記19・15～16

せいしよ 聖句

立って、ここにいるあなたの妻とふたりの娘とを連れ出さない。 15節

あなたも何かする時、グズグズしてしまうことがありますか?そして、「もうー」とか言われて、お母さんに手を引っ張っていかれたり!ここで、主の使いたちはロトさんに、「早く急いで、奥さんとふたりの娘たちとを連れ出さない!」と言うのですが、ロトさんは、グズグズしていたのです。神様は、あわれみのみ手でもって、ふたりの使いによってロトさんたち4人を外に連れ出したのでした。何しろ、神様の恐ろしいさばきと滅びが、押し迫っていたのですから。

いの 祈り  
てんのお父様、あなたのあわれみのゆえに、ロトさんたちは外に引っ張り出されました。あわれみを感謝します。

# 8月22日(月)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記19・12～14

せいしよ 聖句

ほかにあなたの身内の者がここにおりましか。 12節

ノアの箱舟のことを思い出してください。その時、箱舟に入って救われたのは?ノアと奥さん、三人の息子たちとお嫁さんたちの八人でした。船!という漢字は八つの口、つまり八人をあらわしています!ここでも主の使いが、「あなたの身内の者は?」とロトさんにたずねています。ロトさんは、娘たちをめぐってくれるむこたちふたりに、「ここから出なさい!」と言いますが、「何?冗談でしょう!」と、聞いてくれません。ロトさんの力のない言葉!

いの 祈り  
てんのお父様、あなたはいつも家族を大切にしてください。私の家族もみんな救われるようにお祈りします。

# 8月25日(木)

聖書

創世記19・24～28

聖句

しかしロトの妻はうしろを顧みたので塩の柱になった。 26節

み使いはもう一つ大切なことを言いました、「うしろをふりかえって見てはならない」とね。罪の町と滅びから逃げるのには、うしろも見ないで、一目散に、命からがら逃げなさいと言われたのです。ところが、です。ロトさんの奥さんは、つい、くるりと後ろをふりかえり、アッ！その瞬間、塩の柱となってカチコチに固まってしまったではありませんか。み使いの言葉は、そのまま信じて、守らなければならなかったのです。何が気になったのでしょうか？

いのちの祈り 天のお父様、私たちを命の道へと導いてくださるあなたのみ言葉にしっかり従い、罪の生活をふりかえりたくないです。

# 8月24日(水)

聖書

創世記19・17～23

聖句

山にのがれなさい。そうしなければ、あなたは滅びます。 17節

お父さんやお母さんから、「これこれこうしてね」と言われて、その通りにすることって難しいと思いませんか。ロトさんはみ使いからこのように言われて、すぐに「ハイ、そうします」と言えませんでしたね。「山よりもあの小さい町に行かせてください」って！み使いは大きな心でそうさせてくださって、ロトさんたちがその小さな町、ゾアルに入るまで待ってくださったのでした。アブラハムさんとロトさんの大きな違い！あなたはどちらなのでしょうか？

いのちの祈り 天のお父様、危険が迫って注意されてもその通りにできなかったロトさんのようにならないように気をつけます。

# 8月27日(土)

聖書

創世記19・30～38

聖句

こうしてロトのふたりの娘たちは父によってはらんだ。 36節

いやあ、こんなひどいことが聖書に書いてあるなんて…と思うような所が聖書の中にはいくつもあります。読みたくないなと思うような所がね。でも神様は人間の罪深いことをはっきり示してくださるのです。やっとのことでソドム、ゴモラの硫黄と火による滅びからのがれさせてもらったのに、ロトさんとふたりの娘のやったことはとんでもないことでした。生れてきた子どもたちの子孫は永久に神様の民の仲間には入れてもらえなかったのです。

いのちの祈り 天のお父様、どこまでも罪のしみこんだ人間に恐ろしくなります。本当に滅びにまっしぐらの生活からのがれます。

# 8月26日(金)

聖書

創世記19・29

聖句

神はアブラハムを覚えて、その滅びのなかからロトを救い出された。 29節

あなたも誰か他の人のために祈りしたことがありますか？特にまだイエス様のことを知らないで罪の中にいる人のために。アブラハムさんは、み使いからソドムが滅ぼされると聞いて、しつこく、しつこく、ロトさんたちがいるのでとりなしのお祈りをしたのです。アブラハムさんは朝早く、ソドムとゴモラに見える所に行くと、煙がもくもく立ちのぼっていました。「ああ、滅ぼされた…」でも！アブラハムの祈りは聞き届けられて、ロトさんたちは救われていました。

いのちの祈り 天のお父様、アブラハムさんのお祈りは何と力あるお祈りだったことでしょう！私もそんなお祈りをしたいです。



# 8月28日(日)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記22・1～19

せいこく  
聖句

あなたの子、あなたの愛するひとり子  
イサクを…ささげなさい。 2節

「笑くん、イサク」が生れてからのアブラ  
ハムさんとサラさんはどんなに幸せだったこ  
とでしょう！アブラハムさんにとって、「イサ  
クが何をしてもかわいい！もう目の中に入れ  
ても痛くない」と思うくらいだったのです。  
突然！神様からのテスト。「イサクを燔祭とし  
てささげなさい」。一瞬、耳を疑いましたが、  
アブラハムは本気で従い、イサクの命が危機  
一髪のところ、  
「わかった！もうよい」との  
お声。誰よりも神様を愛したアブラハムは、  
テストに合格しました。

いの  
祈り  
てん  
天のお父様、あなたはあなたのことを誰よりも  
なに  
何よりも愛することを求めておられることを深く  
こころ  
心にとめます。



せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記22・1～19

テ — マ

あい  
愛のテスト

あんしよせいこく  
暗唱聖句

あなたの子、あなたの愛するひとり子  
イサクを…ささげなさい。

そうせい き  
創世記22・2

もく  
目標

なに  
何にもまさって神を愛する者となる。

# 8月30日(火)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記22・4～8

せいこく  
聖句

アブラハムは言った、「子よ、神みずから  
燔祭の小羊を備えてくださるであろう」。 8節

「神様はきつと一番良いことをしてくださ  
るにちがいない」と信じられる人は幸せで  
す。アブラハムさんの信仰がそういう信仰  
でした。三日の旅の後、モリヤの山のふも  
とでふたりの若者たちに、「あなたがたはこ  
こにいなさい。私とわらはは行って礼拝し、  
また帰ってきます」と言いました。「燔祭の  
小羊はどこにありますか」と、たきぎを背負  
うイサクにたずねられた時にも、「神様がき  
つと小羊を備えてくださるにちがいない」  
と、信仰もって答えました。

いの  
祈り  
てん  
天のお父様、「これって最悪、絶望的」と思え  
る時も、あなたは一番良いことをしてくださると  
信じさせてください。

# 8月29日(月)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記22・1～3

せいこく  
聖句

神はアブラハムを試みて彼に言われた、  
「アブラハムよ。彼は言った、「ここに  
おります」。 1節

「テスト」って、好きですか？ 私たちの  
実力や中身がわかる時ですね。神様もテス  
トされるのです。そのテストとは、神様を  
一番に愛しているのかどうか、本物の愛な  
のかどうかのテストです。アブラハムは、  
名前を呼ばれて「ここにおります」とすぐ  
答えました。いつでも神様の声が聞けた  
のです。天地がひっくり返るかと思うよう  
なショッキングな神様のご命令を聞いた時  
も、アブラハムは「朝早く起きて」さっそ  
く、その命令にお従いしました。

いの  
祈り  
てん  
天のお父様、あなたを心から愛している人は、  
いつでもどんな命令にでも、すぐ従うのだとよく  
わかりました。

9月1日(木)

聖書

創世記22・10～12

聖句

あなたが神を恐れる者であることをわたしは今知った。 12節

アブラハムが刃物を持つ手を差し伸べ、今にも振りおろしてイサクを殺そうとした、その瞬間！主の使いが天からアブラハムを呼びました、「アブラハムよ、アブラハムよ」。アブラハムはここでも間違いなく聞いて答えました、「はい、ここにおります」と。み使いは言いました、「あなたの息子に何もしてはならない。あなたのひとり子さえわたしのために惜しまないので、あなたが神を恐れる者であることを今知ったから」と。テストに合格しました！

いのちの祈り

天のお父様、みごとにテストに合格したアブラハムさんのように、私もあなたを一番に愛する者になりたいです。

8月31日(水)

聖書

創世記22・9

聖句

その子イサクを縛って祭壇のたきぎの上に乗せた。 9節

「えーっ！お父さん、何するの!? ボ、ボクが小羊のように殺されるの!? お父さん、気が変になったの!?」って、イサクは、アブラハムさんの手を振り払って逃げたりしなかったのですね！イサクはもういい青年でしたから、年老いた父の手からのがれることなく平気でできたはずですよ。しかし、イサクも父アブラハムの信仰の子どもです。「父は、心をこめて神様を愛し、神様に従っている。私も父と同じように、神様の命令にお従いしよう」とゆだねたのです。

いのちの祈り

天のお父様、父アブラハムも、子イサクもあなたを一番に愛して命をかけて従った姿にとても心打たれます。

9月3日(土)

聖書

創世記22・15～19

聖句

わたしは大いにあなたを祝福し、大いにあなたの子孫をふやして、天の星のように、浜べの砂のようになる。 17節

テストにあっば合格したアブラハムさんに、主の使いはもう一度、祝福の約束を告げます。あの時仰いだ星空、無数の宝石を散りばめたような、星、星、星…。今年、海辺で遊びましたか？手のひらにちよっただけすくいあげる浜辺の砂、その砂粒を数えてみるなんて、無理！でしょう。神様は、アブラハムさんの子孫を祝福し、大いにふやして、そんな無数の星のように無限とも思える砂のようになるとの約束です。従ってよかったときと思ったことでしょう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたを愛し、信じ従い、ささげる者への、あなたからの祝福はあまりにも豊かで圧倒されます。

9月2日(金)

聖書

創世記22・13～14

聖句

これにより、人々は今日もなお「主の山に備えあり」と言う。 14節

ガサゴソ、うしろで何やら気配がします。アブラハムが目を見てみると、何とそこに角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいるではありませんか。神様が、「さあ、この雄羊をイサクの代わりに燔祭としてささげなさい」と言ってくださっているようでした。アブラハムはその雄羊をイサクの代わりにささげたのです。それでその所の名を「アドナイ・エレ」、つまり「主の山に備えあり」と呼びました。神第一に生きる者たちのすばらしい合言葉です！

いのちの祈り

天のお父様、あなたを第一にする者たちのためには、あなたは必要なすべてを備えてくださると知り感謝です。

# 9月4日(日)

せいしょ  
聖書

そうせい き  
創世記24・42～58

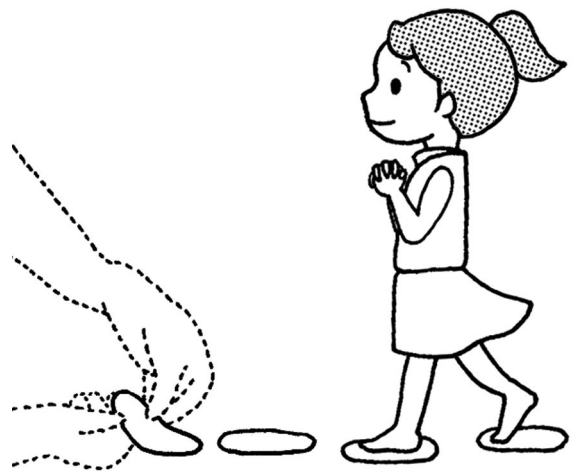
せいぐ  
聖句

この事は主から出たことですから、わたしどもはあなたによしあしを言うことができません。 50節

今日は、ラリー・デー。全員集合しましたか？残暑きびしいかもしれないけど、身も心も振り起つ、振起日です。何か大切な決心をしたら、神様を信じて思い切つてすることですね。今週は、100才の父と90才の母から生まれたイサクさんのお嫁さん探しの巻ですよ。父アブラハムから大切なお嫁さん探しを頼まれた、家の年長のしもべが、神様の不思議な導きのもとに、お嫁さんを見つけ、その娘さんも家族も主によるものと信じ決心したのです。

いの  
祈り

てんのお父様、あなたの不思議な導きと、人々の決心の様子を今週学んで、大切な決心の時のために備えたいです。



ラリー・デー

せいしょ  
聖書

そうせい き  
創世記24・42～58

テーマ

しんこう けつだん  
信仰による決断

あんしやうせいぐ  
暗唱聖句

この事は主から出たことですから、わたしどもはあなたによしあしを言うことができません。創世記24・50

もく びよう  
目標

しゅ みちび さと しんらい けつだん  
主の導きを悟り、信頼して、決断する者となる。

# 9月6日(火)

せいしょ  
聖書

そうせい き  
創世記24・10～14

せいぐ  
聖句

わたしはこれによって、あなたがわたしの主人に恵みを施されることを知りましょう。 14節

そんなー、娘たちはいっぱいいるでしょーし、「一体どうやって、この人！と決められるのかしら？」などと考えつつ、しもべは主人のらくだの中から十頭のらくだを選び、その上に良い物をさまざま乗せて出かけた。ナホルの町の水の井戸のそばにらくだを伏させて、夕暮時、女たちが水をくみにくるのを見て、ピンと来て神様に祈りました。「娘に、『わたしに水を飲ませてください』と頼み、娘が『どうぞ、それにあなたのらくだにも』と言うなら、その娘だとします」と。

いの  
祈り

てんのお父様、らくだにまで、という娘は心やさしい人、そういう人こそイサクの妻と考えたしもべの心を思います。

# 9月5日(月)

せいしょ  
聖書

そうせい き  
創世記24・1～9

せいぐ  
聖句

あなたはわたしの国へ行き、親族の所へ行つて、わたしの子イサクのために妻をめとらなければならない。 4節

神様の祝福を受け継いでもらうイサクさんのためのお嫁さんがしは、とても大切なことでした。アブラハムさんはしもべに手をももの下に入れて誓わせたのです。「カナン」の娘の中から妻をめとってはならない。親族の所へ行つて、妻をめとるように」と。これはどういうことかと言うと、カナンの娘たちは、アブラハム、イサクの信じるまことの神を知らない娘たちだったからです。今でも神様を信じるクリスチャン同士の間で、婚こそ大切なことなのです。

いの  
祈り

てんのお父様、あなたを信じる者同士の結婚がどんなに大切なことかと教えられます。将来のために祈ります。

# 9月8日(木)

聖書

創世記24・45～51

聖句

この事は主から出たことですから、わたしどもはあなたによしあしを言うことができません。 50節

しもべはリベカがベトエルの娘と聞いて大感激。アブラハムの兄弟の子の娘だったからです。彼女の家に導かれたしもべは、どこから何のために来たのかと、リベカの両親と兄に話しました。そして、リベカをアブラハムの子イサクの妻として連れて行っていいのか悪いのか決めてくださいと頼んだのです。彼らはもちろん神を信じる人たちでしたから、「これは主から出た事です。自分たちにはよしあしを言えませんが、さすが！ 神の民ですね」と答えました。

祈り 天のお父様、ものごと一つ一つについて、あなたから出た事かどうか、はっきりわかる心を与えてください。

# 9月7日(水)

聖書

創世記24・15～27

聖句

あなたのらくだもみな飲み終るまで、わたしは水をくみましょう。 19節

しもべが神様に言い終わらないうちに、アブラハムのおいのベトエルの子リベカが、水がめを肩にのせて出てきました。しもべの心臓はドキドキ、ワクワク。リベカはとても美しい娘でした。水をくみ終ったリベカのもとに、しもべは急いで走り寄って、「水をわたしに飲ませてください」と言うと、「どうぞ」と、急いで飲ませてくれて、「あなたのらくだもみな飲み終るまで、わたしは水をくみましょう」と言うではありませんか！ 決まりましたね。

祈り 天のお父様、十頭ものらくだに飲ませるのは楽ではないです。リベカの愛の心と力をしもべは見届けました。

# 9月10日(土)

聖書

創世記24・62～67

聖句

イサクは夕暮、野に出て歩いていたが、目をあげて、らくだの来るのを見た。 63節

さて、こちらイサクはどうしていたでしょう。か。「野に出て歩いていた」というのは、ジョギングでも、リハビリでもありません。『神様のことをじっくり思いめぐらすために、野原に出て行った』ということなのです。アブラハムのしもべのことも思い、祈っていたでしょう。イサクは自分の妻のことは、ぜひ、神様におまかせ、おゆだねしていたのです。そんなイサクのために、神様がふさわしい妻、リベカをちゃんと備えていてくださいました。

祈り 天のお父様、あなたを信じ、ゆだねておまかせする者のために、あなたはベストのパートナーを与えられると信じます。

# 9月9日(金)

聖書

創世記24・42～58

聖句

彼女は言った、「行きます」。 58節

兄ラバンと父ベトエルが、「リベカをあなたの主人の子の妻としてください」と言った時、しもべは地にひれ伏して主を礼拝しました。主のあまりにもよい導きだったからです。『善は急げ！』しもべはもう次の朝、帰らせてくださいと言うと、リベカの兄と母とは、「いや十日ほど待ってください」と言います。それでもしもべは帰りたいと言うと、「では娘に聞きましょう。この人と一緒に行きますか」。リベカはハッキリと答えました、「行きます」と。

祈り 天のお父様、リベカの決心は本当に信仰による決心でした。見たこともない人の所に嫁ぐのですから！ 感心します。

# 9月11日(日)

せいしよ  
聖書

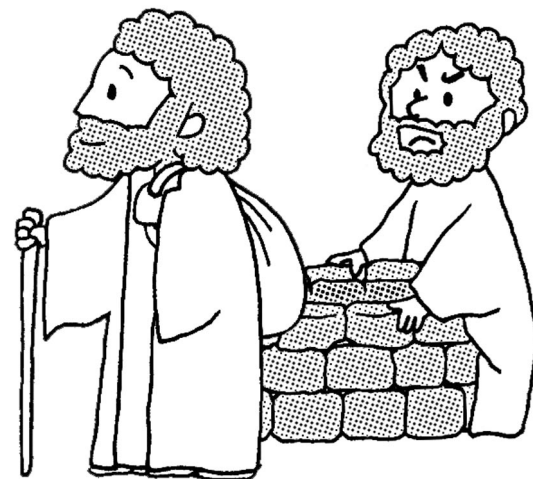
そうせい き  
創世記26・12～22

せいいく  
聖句

にゆうわ ひと  
柔和な人たちは、さいわいである、かれ 彼  
らは地を受けつぐであろう。 5 節

「おとなしくしてたら、損ばかりするよ、人を押しのけてでもゲツトしていかなくちや」と、あなたもそう思いますか？ 実は、神様の祝福の道はそうではないのです。「90才のサラさんから生まれたイサクって、一体どんな人になっていったのかしら？」と興味深いです。彼は「柔和なイサク」となりました。せっかく掘った井戸を荒々しいゲラルの人々に横取りされても、黙って争わないでいました。神様はそんなイサクを心より喜び祝福されたのです。

いの 祈り  
てん とうさま  
天のお父様、あなたを信じるとき、柔和な心を与えられ、ますますあなたの祝福を受けられることを感謝します。



せい しよ  
聖書

そうせい き  
創世記26・12～22

テ マ

しんこう にゆうわ  
信仰による柔和

あんしよせい いく  
暗唱聖句

にゆうわ ひと  
柔和な人たちは、さいわいである、かれ 彼  
らは地を受けつぐであろう。

マタイ5・5

もく ひよう  
目標

ふ ひつよう あらそ さ にゆうわ い  
不必要な争いを避け、柔和に生きる者となる。

# 9月13日(火)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記26・17～18

せいいく  
聖句

イサクは父がつけた名にしたがってそれらに名をつけた。 18節

「ボクはお父さんみたいにはやりたくないよ」と言つて、全然ちがうやり方をする息子たちもいるかもしれません。でもアブラハムの祝福を受け継いでいったイサクさんははがいました。イサクさんはアブラハムさんの時に、そのしもべたちが掘った井戸をもう一度掘り起こしました。アブラハムさんが死んだあとペリシテ人がふさいでいたのです。それらの井戸には、父がつけていた名をそのままつけたのです。父を尊敬していた、心の柔らかいイサクさんでした。

いの 祈り  
てん とうさま なん  
天のお父様、何でも自分のやり方を押し通すのではなく、先輩のしてこられたことも大切にする心をください。

# 9月12日(月)

せいしよ  
聖書

そうせい き  
創世記26・12～16

せいいく  
聖句

イサクはその地に種をまいて、その年に百倍の収穫を得た。 12節

あなたがいっぱい楽しいゲームや、シールやカードとか持っていたら、お友だちが喜んで一緒に遊びに来るでしょう。でも中には、ねたんでいじわるする子もいるかもしれません。ね。イサクさんは神様から大いに祝福され、百倍もの収穫が与えられ、ますます祝福されたので、富み栄えて、家畜もたくさんになりました。するとペリシテびとたちはイサクをねたみ、父アブラハムのしもべが掘った井戸を土で埋めて、「ここから出ていってください」と言いました。

いの 祈り  
てん とうさま  
天のお父様、あなたからの祝福が与えられると、世の中の人々はねたんでいろんな妨げをしてくるのだと知ります。

9月15日(木)

聖書

創世記26・21

聖句

彼らはまた一つの井戸を掘ったが、これをも争ったので、名をシテナと名づけた。 21節

「これでもう二度目だよ！ いい加減に  
してよ！」って、気の短い人はすぐにキ  
レしてしまうかもしれないね。あなたは夫  
夫ですか？ イサクさんのしもべたちは  
またうれしいことにもう一つの井戸を掘り  
ました。ところが、またしてもゲラルの羊飼  
いたちがやってきて争いをしかけてくるで  
はありませんか。イサクさんはその井戸を  
「シテナ（にらみ合い）」と名づけて、そ  
れ以上ゲラルの羊飼いと争いませんでし  
た。何度でも柔和な心で治めたのです。

いの  
祈り

天のお父様、たといくり返されても変わらない  
柔和な態度のとれたイサクさんの柔和は、本物だ  
ったとわかります。

9月14日(水)

聖書

創世記26・19～20

聖句

イサクはその井戸の名をエセクと名づけた。彼らが彼と争ったからである。 20節

水が足りない地方では、「夜は水が使えませ  
ん」ということになると思いますね。イサ  
クさんたちの住む地方は、もともと暑く  
乾燥していたので、水の井戸はとっても大  
切だったのです。イサクさんのしもべたちは  
谷の中を掘って、わき出る水の井戸を見つけ  
て大喜びしたでしょう。そこへゲラルの羊飼  
いがやってきて、井戸争いとなりました。イ  
サクさんはそれを「エセク（争い）」と名づ  
けて、柔和な心で自分の羊飼いたちに争いをや  
めさせたのです。

いの  
祈り

天のお父様、とても貴重な井戸の水なのに、  
奪われても争わなかった柔和なイサクさんにな  
らいたいです。

9月17日(土)

聖書

創世記26・23～25

聖句

わたしはあなたと共にあって、あなたを祝  
福し、わたしのしもべアブラハムのゆえに  
あなたの子孫を増すであろう。 24節

「よくやったね、イサク！」と言っ  
ださるかにようにして、神様はイサクさん  
に現れてくださって、大いなる祝福の約束  
を再びおっしゃってくださいました。神様  
は水の井戸のことでゲラルの羊飼いた  
ちが争ってきた時に、イサクさんがどうするか  
じっとごらんになっておられたのです。今  
や、神様も「よし！」と満足されて、「恐  
れることはない、わたしはあなたと共にい  
て祝福し、アブラハムのゆえにあなたの子  
孫を増す」と言ってくださいました。

いの  
祈り

天のお父様、イサクさんが喜んで、あなたのた  
めに祭壇を築いて、あなたの名を呼んで祈った様子  
が目に浮かびます。

9月16日(金)

聖書

創世記26・22

聖句

いま主がわれわれの場所を広げられた  
から、われわれはこの地にふえるであ  
ろう。 22節

『三度目の正直』という言葉を知ってま  
すか？ ここのイサクさんの柔和が勝利  
して、イサクさんのしもべたちがまた他の  
所で井戸を掘りましたが、三度目にはゲラ  
ルの羊飼いたちは争わなかったのですね。  
ついに！ そういうわけで、イサクさんは  
その名を「レホボテ（広い場所）」と名づ  
けて言いました、「いま主がわれわれの場  
所を広げられたから、われわれはこの地に  
ふえるであろう」と。神様を信じて柔和で  
いるということが祝福のカギなのです。

いの  
祈り

天のお父様、その時は損したように思えても、  
あなたはちゃんと見てくださり祝福してくだ  
さり感謝です。

9月18日(日)

聖書

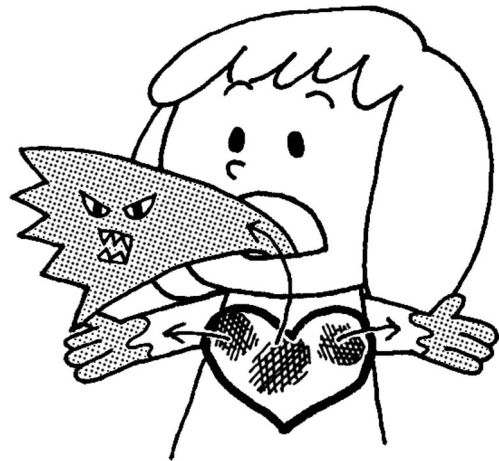
マルコ 7・14～23

聖句

これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである。 23節

今週から11月までは、「イエス様の教えとお働き」について学ぶことにしましょう。あなたにいろいろと教えてくれる人たちがいますよね。お家の人たち、学校の先生たち、上級生たち、塾の先生たち、友だちも。教えてもらって学ぶことはとても大切です。その中でも、イエス様の教えを聖書から学ぶことは超大切！一番大切な事を教えてくださるからです。「人をけがす罪」の教えなんてイエス様だけが教えてくださる事です。じっくり学びましょう。

いのちの祈り 天のお父様、あまり聞きたくないなと思う教えこそ、とても大切なのだと思って、しっかり学んでいきます。



聖書

マルコ 7・14～23

テーマ

人を汚す罪

暗唱聖句

これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである。

マルコ 7・23

目標

人を汚す内面からの罪に気づき、十字架による赦しときよめを受ける。

9月20日(火)

聖書

マルコ 7・20～23

聖句

人から出て来るもの、それが人をけがすのである。 20節

「すなわち内部から、人の心の中から、悪い思いが出て来る」(21)と続いています。多くの人は、外側ばかり飾っています。頭、イヤリング、マニキュア、香水、ネックレス、ブレスレット、アンクレット、指輪、数限りなく身につけ外側にお金をかけます。でも神様が一番気にしておられるのは、私たちの「内側」「内部」「心の中」です。そこから悪い思いが出て来て、人をけがすとは大変な事です。

いのちの祈り 天のお父様、どんなに外側をきらびやかに飾っても、内部から、心の中から悪い思いが出て来るのは本当です。

9月19日(月)

聖書

マルコ 7・14～19

聖句

イエスはこうに、どんな食物でもきよいものとされた。 19節

「すべて外から人の中にはいつて、人をけがしうるものはない」(15)。「それは人の心の中にはいるのではなく、腹の中にはいり、そして、外に出て行くだけである」(19)。パリサイ人や律法学者たちは、手を洗うとか器を洗うとか、外側ばかり気にする昔の人の言い伝えばかりを大事にしていました。彼らが弟子たちを非難した時、イエス様は、人をけがすものは人の中から出てくると言われ、外から入るどんな食物も腹に入り出て行くきよいものだと言われました。

いのちの祈り 天のお父様、あなたがくださるどんな食物も私の心を汚したりしません。心から感謝して何でもいただきます。

# 9月22日(木)

聖書

マルコ 7・21～23

聖句

欺き、…妬み、

22節

エイプリル・フールは4月1日のことで、冗談にうそを言えるという、ちよつと間違えば困った事になるかもしれないような日です！うそを言う、「ごまかしを言う、だますといったことは、相手をバカにするような事になる罪なのです。」妬み「って何でしょう？これは私たちの心の中のこと、人には見えません。成績のいい子とか、お金持ちの子とか、ちよつときれいな子とか、自分より上の子に対して、「一緒に喜べない貧しい、うらやましがる心です。」

いのちの祈り  
天のお父様、人を欺けたとしてもあなたを欺くことはできません。妬みの心はどうにもできません。助けてください。

# 9月21日(水)

聖書

マルコ 7・21～23

聖句

盗み、…貪欲、

21～22節

「蛭にふたりの娘があつて、『与えよ、与えよ』という」(箴言30・15)。蛭という気持ちの悪い虫を見たことがありますか？人にペタッとくっついて血を吸うのです！もつと欲しい、もつと欲しいという、これを貪欲と言います。欲張りですね。その思いが満タンになってしまつて、いついつい手が伸びて、盗みという罪を犯してしまいます。「万引きは罪です」と貼り紙がしてありますね。貪欲は恐ろしい盗みの罪を引き起こします。よくよく私の心が守られますように。

いのちの祈り  
天のお父様、心の思いが外に出て行くとして厳かです。十字架を仰いで心がきよくされますように。

# 9月24日(土)

聖書

Iヨハネ 1・5～10

聖句

御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。 7節

私たちの心の中に、こんなにもたくさんのがれがあつて、イエス様に見られていると思つと恥ずかしい思いでいっぱいです。本当にゆるしていただき、きよめていただきたいです。「御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである」とのみ言葉を信じる以外にはありません。思い浮かぶ罪を神様の前に、心から悔い改めて、イエス様の十字架の身代わりを信じましょう。「きよめつづける」血を心より信じ、お頼りしましょう。

いのちの祈り  
天のお父様、御子イエス様による罪のゆるしと救いを感謝いたします。ゆるされ、きよめられて歩みたいです。

# 9月23日(金)

聖書

マルコ 7・21～23

聖句

高慢、愚痴。

22節

「どう、ボクってなかなかやれるでしょー」「ね、私ほど頭のいい子は他にいないわよ！」とか、自慢高慢は神様の大好きなものです。高ぶる者を退けられる神様なのです。「愚痴」とは？「どうしてこうしてくれないの、ああしてくれないの、あの人にはいつも困ってるわ、何とかして欲しいわ」って、いつでもグチグチ文句や不平や不満を心に持ち、口に出すのはげがれですね。少しも感謝ができない心から、愚痴があふれ出ます。周りもいい迷惑です。

いのちの祈り  
天のお父様、本当にあなたに嫌われるたくさんののがれがあります。人ごとではないことがよくわかります。



# 9月25日(日)

せいしよ  
聖書

マタイ15・21～28

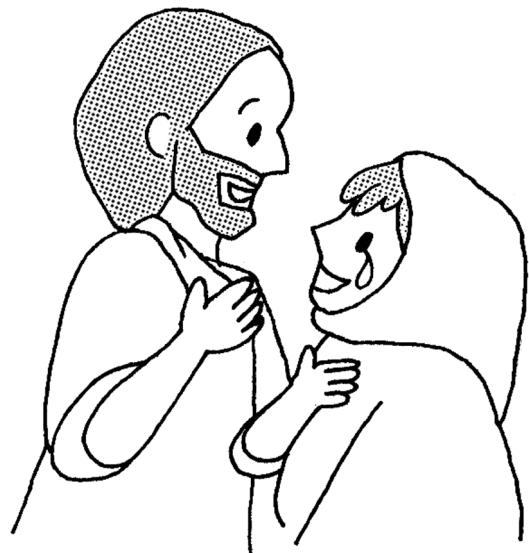
せいこく  
聖句

おんな 女よ、あなたのしんこう 信仰は見あげたものである。あなたのねが 願いどおりになるように。

28節

あなたも誰かに「ほーっ!!」って、感心してもらったことがありますか？ 九九が完ぺきに言えるようになった時とか。誰が感心してくれて、ほめてくれたのです？ ここでは、イエス様が、ひとりの女の人の信仰を、「何と見あげたものか！」と感心され、その願いどおりに彼女の娘が悪霊から解放されたのでした。しかも、この女の人とは、まことの神様を信じていたユダヤ民族のひとりではなく、偶像を拝む国の女の人だったので、驚くばかりです。

いのちの祈り  
てん 天のお父様、私もあなたやイエス様から感心され、ほめられるような立派な信仰の持ち主になりたいです。



せいしよ  
聖書

マタイ15・21～28

てーま

み 見あげた信仰

あんしよせいこく  
暗唱聖句

おんな 女よ、あなたのしんこう 信仰は見あげたものである。あなたのねが 願いどおりになるように。 マタイ15・28

もく 目標

けんそん 謙遜でありつつ だいたん 大胆な信仰によって 祈るものとなる。

# 9月27日(火)

せいしよ  
聖書

マタイ15・23

せいこく  
聖句

しかし、イエスはひと ひとと言もお答えにならなかった。 23節

え？ イエス様は、こんなにも叫び続ける女の人に、ひと ひとと言もお答えにならなかったの？ この人がイスラエル人でなくて、偶像を拝む国の人だったからでしょうか？ イエス様って、そんなに冷たいお方だったの？ おまけに、弟子たちさえもがイエス様のもとにやってきてお願いするではありませんか。「この女を追いついてください。叫びながらついてきていますから」って！ イエス様もイエス様なら、お弟子さんたちもお弟子さんたち！ 何て冷たいの。

いのちの祈り  
てん 天のお父様、これって本当にこうだったのでしょ。イエス様の態度や弟子たちの言葉が理解できません。

# 9月26日(月)

せいしよ  
聖書

マタイ15・21～22

せいこく  
聖句

しゅ 主よ、ダビデの子よ、わたしをあわれんでください。 22節

「あれ？ 悪霊にとりつかれて苦しんでいるのは、このカナンの女の人の娘さんですよ？」と思うでしょう。この女の人にとっては、娘さんの苦しみは、自分の苦しみだったのです。だから、「わたしをあわれんでください」と叫びました。いえ、叫び続けました。「主よ、ダビデの子よ」とは、この女の人がイエス様こそ救い主と信じていたのだとわかります。私たち、他の人の苦しみが自分のことのように思えて、「わたしを」とお祈りしたいですね。

いのちの祈り  
てん 天のお父様、女の人の娘さんへの愛とイエス様への信仰がひしひしと伝わってきます。私もこういのちの祈りたいです。

# 9月29日(木)

聖書

マタイ15・25

聖句

しかし、女は近寄りイエスを拝して言った、「主よ、わたしをお助けください」。

25節

ところがです。この女の人はがっかりしたり、あきらめたり、すねたり、やめたりしなかったのです。なぜって娘をどうしても救ってほしかったからです。女の人は、そんなに無視されたり、追い払われようしたり、拒絶されたりしたにもかかわらず、ますますイエス様に近寄っていききました。それだけではなく、ひれ伏して礼拝したのです。そしてしつこく、同じことをくり返しました。「主よ、わたしをお助けください」と。ただこの一言でした。

いの

祈り

天のお父様、どんなに言われても、されても、なお近づき、礼拝し、娘の助けを求め続ける姿に教えられます。

# 9月28日(水)

聖書

マタイ15・24

聖句

わたしは、イスラエルの家の失われた羊以外の者には、つかわされていない。

24節

「泣きつ面にハチー」状態。つらくてワアワア泣いているところに、ハチがブーンと飛んできて、おでこをチクリ！ いっそう激しくギャアって泣いてしまふでしょう。お弟子さんたちの心ない言葉につづいて、イエス様のもっとひどいと思われるようなお言葉でした。「イスラエルの家の失われた羊にしか、わたしはつかわされていない、あなたがたのところへはつかわされていないのです」とのお言葉。女の人の心は、ますますショックで一杯になったでしょう。

いの

祈り

天のお父様、お祈りしてもお祈りしても答えられないばかりか、「ノー」という答えがくるととてもショックです。

# 10月1日(土)

聖書

マタイ15・27～28

聖句

主よ、お言葉どおりです。でも、小犬もその主人の食卓から落ちるパンくずは、いただきます。

27節

「はい、私たちは小犬のような者たちです。主よ、あなたのおっしゃる通りです。でも、主よ、小犬だって、その主人の食卓から落ちるパンくずは、いただくではありませんか」と女の人は答えました。何という徹底したへりくだり！ 何という徹底した信仰！ イエス様はきっと大きな深い喜びを心に覚えられたことでしょう。そして言われました、「見上げた信仰だ、あなたの願いどおりになるように」と。そして、その時に、娘さんはいやされたのです。

いの

祈り

天のお父様、このカナンの女の人の愛と、謙遜と、信仰と、祈りとに、多くのことを教えられて感謝します。

# 9月30日(金)

聖書

マタイ15・26

聖句

子供たちのパンを取って小犬に投げてやるのは、よろしくない。

26節

イエス様の最後のダメ押しのようなお言葉です。「えーっ！ 小犬ですって!? 私たちのことを小犬だなんて軽蔑ですよ。わかりました。もうがまんできません」と、キレちゃう人もいるかもしれませんね。イエス様は一体、どういうお気持ちで、この女の人にこのお言葉をおっしゃったのでしょうか。どこまでもへり下って、求め続けるのかどうか、どう言われても、信仰もって祈り続けるのかどうか、ためされたのでしょうか。あなただったらどうしますか？

いの

祈り

天のお父様、ここまで言われたらもうがまんできないかもしれません。でも本物の信仰の持ち主になりたいです。